

取得メリット大きく

グリーン経営認証

エコドラでも効果顕著

トラックやバス、タクシーなど運輸業界の環境負荷低減を図ることを目的に、交通エコロジー・モビリティ財団（井山嗣夫会長）が一定レベ

ル以上の環境改善に取り組み事業者に認める「グリーン経営認証」。

燃費向上や車両故障・交通事故の減少、顧客評価、職場

六事業所が登録している。表。

二年ごとの登録更新が必要だが、取得事業者の九割以上が更新。「グリーン経営」に取り組むことで、コストに代えられない実利としてのメリットを感じている事業者が多い（加藤信次交通環境対策部長）。

優秀9割が認証取得事業者

特にエコドライブの取り組みでは、取得の効果が顕著に出ている。

同財団は昨年、白ナンバーを含め、自社車両を持ちエコドライブを推進する事業者を対象に、優秀事例を表彰する「エコドライブ活動コンクール」を初開催。

参加した七百十一社のうちグリーン経営認証取得事業者は約三割。審査の結果、上位四十五事業所のうち九割近くをグリーン経営認証取得事業者が占めた。

「（コンクールは）エコドライブ普及を前提に広く参加を呼び掛けたが、グリーン経営認証を取得した事業者の意気込みが普段から違うことが如実に出た」（加藤部長）。

インセンティブ拡大望む声

一方、「事業者からは取得に対するインセンティブ拡大を望む声もある」と加藤部長。グリーン経営認証は、改正省エネ法で荷主企業の事業者選定基準に推奨されているが、強制力はなく、あくまで「配慮事項」。グリーン経営を知らない荷主も多く存在するといふ。

トラック業界でも、環境対策促進や企業体質改善の有効なツールに位置付けられているグリーン経営認証。普及には、国や行政が荷主に強く働き掛けることも不可欠のようだ。（水谷 周平）

グリーン経営認証の業種別
累計登録事業者・事業所数
(平成24年5月末現在)

	累計登録数	
	事業者数	事業所数
トラック運送事業	3,064	5,807
バス事業	110	347
タクシー事業	269	465
旅客船事業	9	9
内航海運業	26	27
港湾運送事業	28	62
倉庫業	160	609
合計	3,666	7,326

モラル・土気を高めるなどの効果・メリットが得られる。トラックを中心に、認証取得事業者は年々増加。五月末現在、全業種で三千六百六十六社七千三百二十